

水戸藩開藩四百年記念『桜田門外ノ変』映画化支援の会

基調講演 「映画づくりと地域活性化への期待」

講師：藤崎 慎一氏（地域活性プロデューサー）



1986年中央大学卒業。同年㈱リクルート入社、2003年㈱地域活性プランニングを設立。
 <主な業務実績>
 「ロケ誘致によるまちづくり」北海道庁、栃木県、新潟県、福島県、千葉県、香川県他。
 <主な委員会等>
 地域活性化伝道師（内閣官房都市再生本部）、茨城県ブランド戦略会議委員長（茨城県）他。
 <執筆>
 「よそ者によるまちづくり」（トラベルジャーナル）、「ロケ誘致の効果的な活用戦略」（『月刊観光』日本観光協会）他多数。

パネリストのご紹介



佐藤 紳司氏
 （映画プロデューサー）

1956年宮城県生まれ。1979年岩手大学卒業。同年㈱阪和興業入社、1990年㈱イメージ、数社で取締役をつとめた後、2007年㈱ラブオール設立代表取締役就任。
 <主なプロデューサー作品>
 中島みゆき「夜会 vol.8 問う女」、中島みゆき「夜会 vol.10 海嘯」、「ハート・オブ・ザ・シー」、「ロード88」、「透光の樹」「三本木農業高校、馬術部」（平成20年秋公開予定）



鈴木 章一郎氏
 （茨城県商工労働部観光物産課長）

1972年愛知県生まれ。1995年東京大学卒業、同年建設省（現国土交通省）入省。その後大蔵省、国交省大臣官房、総合政策局、道路局等の複数の局を経て、2003年から3年間にシンガポール日本国大使館勤務。2008年4月より現職。



三上 靖彦氏
 （茨城の暮らしと景観を考える会代表理事）

1959年水戸市生まれ。1983年筑波大学大学院修了、同年㈱地域計画連合（東京）入社。1990年㈱ミカミ入社、1998年同社代表取締役、現在に至る。2003年NPO法人茨城の暮らしと景観を考える会を設立、2005年水戸オセロプロジェクトいばらき推進委員会の事務局長などのNPO活動も推進中。



谷田部 智章氏
 （『桜田門外ノ変』映画化支援の会事務局次長）

1973年水戸市生まれ。小学生の頃から映画に親しむ。1992年水戸市内の映画館に勤務。市内で上映される映画は全て観るといふ思いで毎日「映画」に明け暮れ、退職後も映画鑑賞を続ける。2003年初めてエキストラとして出演以降、県内での数々のロケにエキストラ参加。映画作品「HEART ロケ地探訪～茨城の魅力にせまる～」を制作。

『桜田門外ノ変』映画化支援の会の活動概要

江戸の末期、水戸藩による幕政改革をめざした学問・教育思想は、押し寄せる列強の脅威に対して、諸藩を「尊王攘夷」の旗印の下に糾合させるバックボーンとなりました。さらに、幕権回復のために断行された安政の大獄に起因する水戸藩浪士らによる『桜田門外ノ変』は、幕末日本に大きな転機をもたらし、雄藩や尊攘志士らの列強との交戦、続く明治維新への先駆けとなりました。私たちは、水戸藩が最も熱く燃えた日々を郷土の美しい風景とともに映し出す『桜田門外ノ変』の映画化をめざします。どうぞ皆さん、この映画づくりと、それを起爆剤とした多彩なまちづくり活動（講演会や史跡めぐり、交流事業ほか）に、是非ご参加下さい。茨城はもとより日本全国に向けて、混迷する現代を見え新たな時代を切り拓く「気運」を醸成していきましょう。

